

「行革甲子園 2018」エントリーシート

【取組の内容】

1 取組事例名

促進月間を設け 職員提案制度を活性化!! (職員提案制度の見直し)

2 取組期間

平成28年度～(継続中)

3 取組概要

事務改善の一手法として運用している「職員提案制度」の活性化を図る。

職員提案制度概要：事務事業全般について、市民サービスの向上、事務事業・執務環境の改善、経費の節減・収入の増加に関する企画考案、着想等を全職員から募集し、優れた提案は採用し、実施を検討するもの。提案は、既に適切な効果を上げた実績提案等も可。

4 背景・目的

職員提案制度については、平成23年度以降、提案がされていない状況が続いている。職員の創意工夫と勤労意欲の高揚、さらに、効果のある提案の実施によって、事務事業の能率の増進と市民サービスの向上を図る。

5 取組の具体的内容

H28年度に職員アンケートを実施したところ、特に若い世代に、行財政改革への意欲は高いが、制度を知らない者が多数との傾向が見られた。

制度の周知不足が原因



H29年7月、職員提案制度促進月間を設定して、職員提案を募集

種々の方法で制度をPR

庁内にチラシ掲示、庁内の会議でお知らせ、管理職への制度活用促進依頼



H29年8月、結果18件の提案を受け、提案に対する事務担当課の意見聴取等の調整を行いながら、副市長を委員長とする庁内の会議である事務改善委員会で、提案を審査し、実施（検討を含める）すべきとして採用する提案を決定。



H29年10月、全提案内容をホームページで公表、採用提案者を褒賞するとともに、事務担当課に提案の実施を依頼。



H30年1月～2月、事務改善委員会で、制度を運用しての改善点を審議し、次年度に向けて、規定の見直しを実施

主な見直し点

- ①H29年度に試行として促進月間を設けた結果、提案件数が増加したため、随時募集から、一定期間の募集へと変更する。
- ②制度推進のため、提案に対する可否、効果についての意見、上乘せ提案等について、全職員を対象としたアンケートを実施することができるよう改める。
- ③提案の審査に際して、提案者が事務改善委員会でプレゼンテーションを行うことができるよう改善する。



H30年度（新规定により実施）

H29年度の実施提案の効果の検証

見直しを踏まえて、制度運用を推進

6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

- ・促進月間を設定し、チラシ等を活用するなどして、提案を集中的に募集した。
- ・提案内容を、次年度の予算編成に実際に反映できるよう、短期間で審査を行った。

7 取組の効果・費用

(効果)

- 平成29年度実施提案による財政効果見込み額 123千円
 - ・実施提案（口座振込済通知の廃止）による郵送料等の削減額 123千円

(費用)

- 採用提案に対する褒賞等 10千円
 - ・全提案への提案賞として 4千円
 - ・採用提案への褒賞として 6千円

8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦勞した点）

職員提案制度の見直しにあたっては、当制度が昭和58年以来のもので、その後、特段の変更も加えてこなかったため、現在の市の実態に合わない内容があり、規定改正には苦慮した。また、今後の運用を見据えて、制度が活用しにくいものとならないよう、さらに具体的に効果のある提案がなされるよう、他団体の事例を参考にしながら、事務改善委員会等で様々な意見を審議し、改善を図った。

9 今後の予定・構想

平成29年度の試行をもとに見直した新规定により、職員提案制度を運用していく。
運用を継続する中で、改善すべき点があれば、必要に応じた見直しを行い、効果的な運用を推進していく。

10 他団体へのアドバイス

職員提案制度について、当市ではしばらくの間、活用がされておらず、そのため、ノウハウもなく、状況を打開しようにも、どこから見直しすべきか分からない状況がありました。今回は、とにかく、活用を図るとの目的で、積極的なPRを行い、結果、従前と比較して、多くの提案が提出されることとなり、この運用を踏まえ、制度の改善を行いました。多少の不備等があっても、まずは実行してみることも一つの手段と考えます。

11 取組について記載したホームページ

<http://www.city.kamisuibaraki.jp/8354.htm>（職員提案制度）